

第9回女川地域原子力防災協議会作業部会議事概要

1. 日時

平成30年2月14日（水）10：30～12：00

2. 場所

TV会議

3. 出席者

国 : 内閣府、原子力規制庁、資源エネルギー庁、東北経済産業局
関係地方公共団体等 : 宮城県、女川町、石巻市、登米市、東松島市、
涌谷町、美里町、南三陸町、東北電力株式会社

4. 議題

- (1) 女川地域の計画充実化に向けた検討状況について
- (2) その他

5. 概要

- (1) 女川地域の計画充実化に向けた検討状況について

○1月17日～19日に、内閣府及び県がUPZ内5市町を直接訪問し避難計画充実化に係る意見交換をした際の概要について、内閣府より説明。意見を踏まえ、今後、国はさらに、県、市町、及び関係機関等と密接に連携し、避難計画の具体化、実効性の確保に向けて検討・調整する旨を報告した。

○内閣府より、女川地域の緊急時対応の作成作業に向けて、各市町に確認・調整する必要がある事項について説明した。今後の作業に向けて、各市町の避難行動要支援者等の基本データ、防災関係のマニュアル等、現時点において関係機関で共有可能な資料の提供を依頼した。

○宮城県から現段階の調整及び検討事項として、宮城県バス協会との調整状況と今後の予定、社会福祉施設等の避難計画策定に向けた取組状況、避難退域時検査場所及びUPZにおける安定ヨウ素剤緊急配布の方針について説明。特に、現在予定している避難退域時検査場所候補地と避難経路との位置関係について各市町に確認した。また、UPZにおける安定ヨウ素剤の緊急配布の方針に対して、複合災害により孤立する可能性のある地区の対応について意見が出され、県から、今後、国、県とともに個別に検討調整する旨を回答した。

(2) その他

○29年度内作業部会等の主なスケジュールについて説明

3月中旬に第10回作業部会を現地にて開催する方向で調整、各市町等と個別で調整する事項があれば継続して調整することとした。

○宮城県からは緊急時対応策定に向けたマイルストーンについて確認があり、内閣府から女川地域原子力防災協議会での確認、原子力防災会議での了承等の手順について説明した。

以上